

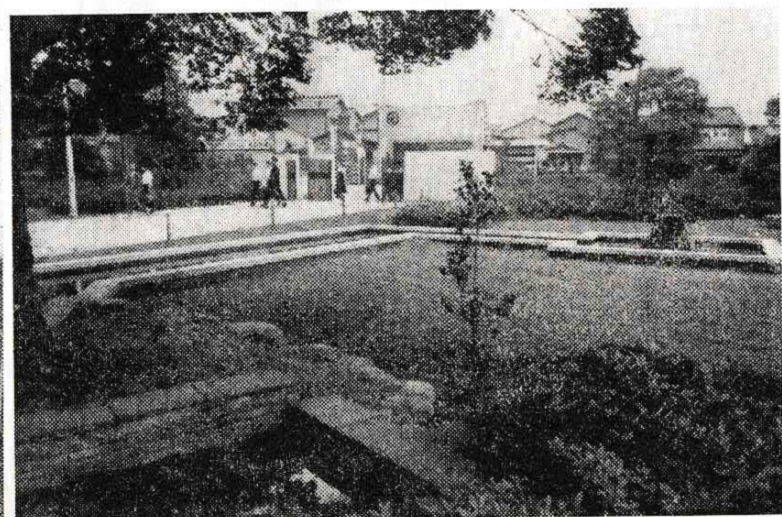
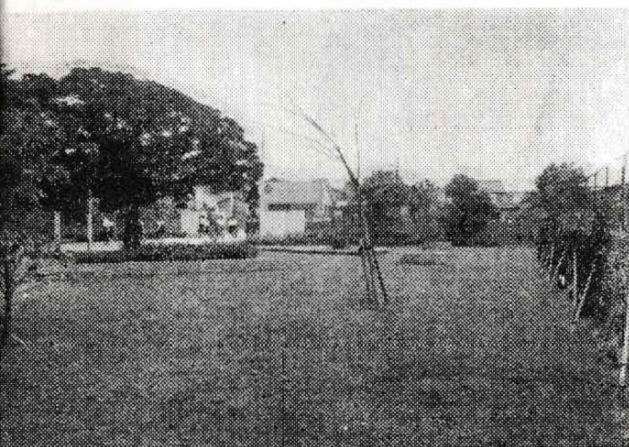
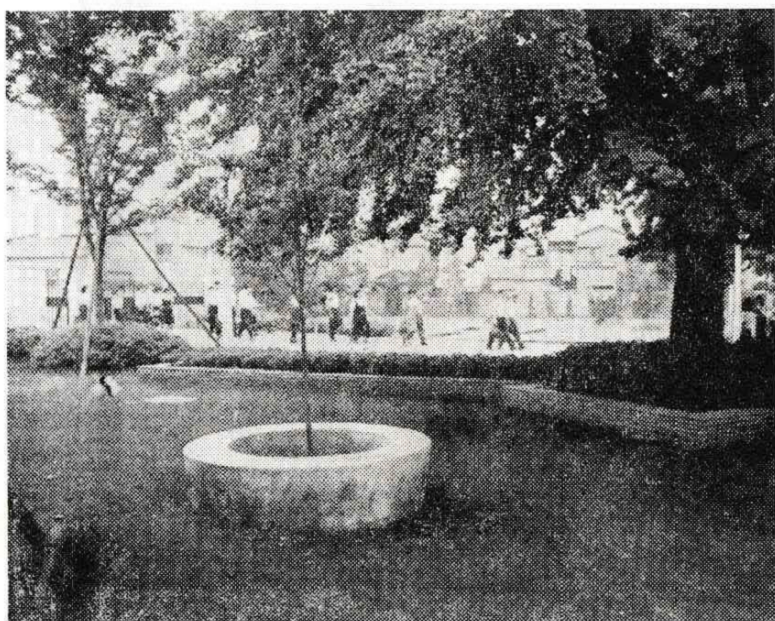
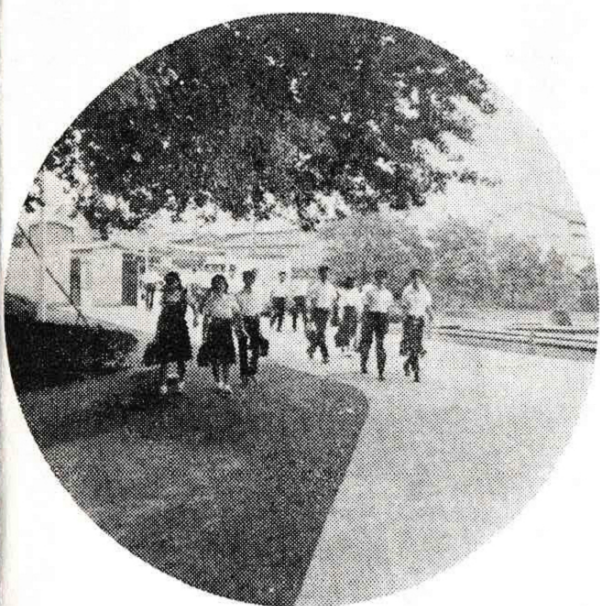
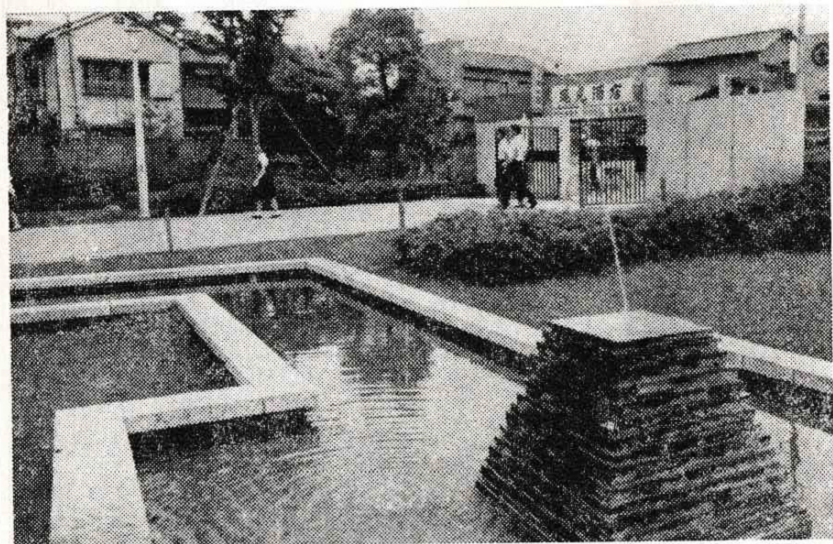
紫 笥



文京高校同窓會報

NO.12

最近の母校



紫 筍



—紫 筍 第12号 目次—

同窓会委員会より	2
総務委員会	2
名簿委員会	3
会報委員会	4
ダンス委員会	4
学校群問題	5
〔報 告〕	
本年度職員移動その他	6
会計報告	7
〔十字路〕	
流 れ 星	8
友情の限界	8
農工大と文京生	9
文京—現在—これから	1
母 校	1
文京高校の思い出	1
昭和42年度大学進学状況	1
昭和42年度就職状況	1
編 集 後 記	1
昭和42年度同窓会役員	1

同窓幹事会より

七千余名という多くの会員を擁する我文京高校同窓会も、会が増々発展するにつれ異った構成を成してきました。組織の拡大に伴う種々の欠陥——幹事会への出席者の減少、それに依る所の極く少数者の活動、そして同窓会への無関心など——を抱えてはおりますが、ここでは皆さまの軸となり、柱となつて働らいている各委員会の近況報告、活動状況など載せてみたいと思ひます。

その前に簡単ではありますが、同窓会の各委員会を紹介してみますと全部で

- (一) 総務
- (二) 名簿
- (三) 会報
- (四) 同期会
- (五) 進路
- (六) 会館
- (七) ダンス

の七つになります。そして各々幹事はこのいづれかに所屬し、三年間は実質活動期間として積極的に活動してもらふことになっています。尚紙面の都合もあつて、今年は (一)総務 (二)名簿 (三)会報 (四)ダンスの四つしか紹介できません。残りの(五)同期会、(六)進路、(七)会館は昨年度「紫筍」第十一号に載せましたので

ここで要約させていただきますと、

(四)同窓会の寺尾氏はその文中において、卒業後いく度かの試練を越え心静かに過去を思いやる時、友を想ひ、恩師を想う氣持が単なる懐古趣味に終を止めず、何年あるいは何十年後にお互いに会うことによつて、未知の世界への希望、氏の言葉に作れば、『末来への展望が開ける』そこにこそ同窓、同期会の意味と目的があるといふのです。そして同窓会の陰にあつて忘れがちな同期会を尚一層の努力を持つて開催し持続して欲しいといつています。(五)進路の八重樫氏は、ここ数年來進路就職懇談会に於ける女子出席者の減少が見られるが、これを打開する方策は結局の所卒業生各個人の自覚を促すより外ないのである。思ひ起こしてみれば、今日私達が會得することができた知識、この根底となつたものは先人殊に環境を同じくする人達の意見に依る所が大なるではあるまいか。そのような考えの基にたつてみると、後に残された者への義務感が生じてくる事は至極當然の事であらう、こういう事なのです。最後に(六)会館の皆葉氏は、四十年度の活動の結果から、会館用地の問題、資金の問題を取り上げて、用地に関しては校地を借用すべきであるが、借地料が無料になる一方、建築された物は都側の所有物となり使用上若干不便がある事、そして校舎

に便乗する場合は違法になる事この二点を掲げています。又資金面では、現在まで年取の半分を貯金してきているが思わしくなく、一挙に同窓会の入会金を上げるのも、それとて限度がある、会員者氏の寄附を求めたいがそれとて連絡のための郵便代もバカにならない等……いやがうえにも、現実の世界に突き落とされてしまいます。三者共々色々の悩みをかかえてこの一年間を活動してきた事と思ひますがその成果を本年度「紫筍」に掲載できないのが残念です。

以上昨年度「紫筍」より要約致しました。が、本年共々皆様の陰になつて働らいている幹事の奮闘ぶりが皆様の心に届くことができたら幸福かと思ひます。

— 総務委員会 —

十八期(四十一年卒) 松井 好彦

今年になつてやっと本格的な活動部として出発いたしました。総務部は一応昨年から存在していたのですが、同期会推進の幹事の皆さんの兼任という形になってしまい、思うような活動ができずに終つてしまいました。まして昨年度は初任事に「学校群」問題という難題をかかえ、どうしていいのかさっぱりわからず大変な困惑ぶりでした。

さて、そもその総務部の生立ちは、その字のあらわすとおり各部の活動部の中心となることにあります。いままでは（いや現在もであります）同窓会運営全体の中心として、西岡・赤坂両先生の尽力に依存するところが非常に大きかったのであります。各部の活動をまとめ、その中心としてがんばってこられた両先生の力なくして現在の同窓会の発展はあり得ないと言っても過言ではありません。（両先生は文京旧一・二期卒業の先輩です。）両先輩に感謝いたします。

私共総務部はまだ一つの実績も残していませんし、その人員は少数ではありますが、皆若々しく活動力に富む精鋭ばかりであります。今後の活動に注目し期待して下さい。

次にこれからの活動目標について、
(一)同窓会幹事会（各部）の活発化

現在、文京高校同窓会は七千名あまりの会員を有しており、その代表である一七八名の幹事は幹事会を構成し各部を活動の場として居ますが、各部とも共通に実際に活動する人員がごく少数で困って居ます。各幹事の自覚をよびおこすのではもう間に合わない状態です。

(二)母校（在校生）とのつながりの強調。

これは主に進路指導部の仕事です。文京を卒業する生徒諸君は毎年五百名近くいます

が、その中の大部分の人々が同窓会の存在にまったく気がつかないでしょう。そして時々受けとる同窓会々報「紫筍」がどうして作られるのか、生徒諸君が支払う入会金がどのように使われているのかを知る人はごくわずかでしょう。（もっともこの事は大部分の同窓会員にもいえることですが）そして同窓会の存在を卒業式の同窓会長の祝辞でおぼろげに知るのです。

—名簿委員会—

十七期（四十年卒）長尾 良太

5月14日、来年三月発行の名簿編集の活動は開始されました。同窓会の活動として、最低にして最高の活動は名簿の発行につまると思いますが、最低の活動としても欠かせないし、最高の活動としてはその内容の正確さが真価をとわれる所です。

約三百頁八千人の名簿となりますと、その正確さを期すべき筈の所が、どうしても人手不足などで校正が不充分だったりしました。

第一の活動は昨年原稿と本年三月発行の名簿との訂正にはじまりました。各人分担の頁を持ち帰り、五月中に訂正することにする。

次は、今年度最大の目標である、索引の作成である。カード取りの原稿作りがはじまる

わけである。ワラ半紙でも一米近くなる厚みにいささかノイローゼになりかねない。

姓名のよみ方の正確さをどうするかで一苦労する。長田でもオサダもあればナガタもあり、幸子でもサチ子、ユキ子と読みがちがあるが一応、8月一杯に終るよう努力する。

次は10月中旬に、お正月のカルタ取りには早い、アイウエオ順のカード取りをする予定。それを各人が分担して持ち帰り11月一杯に原稿にして索引を作成する。

12月に入ると返信ハガキで数千名にのぼる住所職業電話などの原稿の訂正をする。

お正月に先生方の所に送られた賀状を中心にして、最終訂正を先生方をお願いして、1月中旬に印刷へまわす。

2月中旬に校正を終り、3月10日頃を同様に完成を期す。下旬に、希望者に発送となり来年度の名簿編集の活動も打ち止めとなる次第である。

本年は索引も付き、郵送代もバカにならないし、同窓会としても予算が中々苦しいので寄付を抑ぐためにも、千円で希望者にお分けする事になった。なるべく多くの方の購入を望む次第である。

名簿への名刺掲載料は三千円として、名簿を送付する。ご希望の方は「卒業年、クラ

ス、氏名、住所、電話、職業、勤務先、電話」をお知らせ頂きたい。

どの部もそれぞれ大変な努力の上で活動が維持されているわけであるが、会員諸氏におかれては、同封ハガキへ記入の上、年に一回ですからご協力の意味ですぐご返送して下さい。

—会報委員会—

十八期(四十一年卒) 瀬尾 淳

文京高校同窓会々員は古くは終戦直後に卒業された諸先輩から今年晴れて卒業をむかえた新会員まで総会員数約七千余名になりました。立派なものです。その七千余名の会員を一つに結んでいる唯一の機関紙、それがこの同窓誌「紫筒」である、という誇りと自信を持って連日編集に精を出しています。

しかしその誇りと自信もここ二、三年悩みがない訳ではありません。というのは編集に際し、その役員の絶体数というものが非常に足りないということ。これは何も私達会報委員会の方に生じた現象ではないらしいのです。他の委員会でも同様な悩みを持っていると聞きました。

活は変わりますが当「紫筒」の作成までの過程を記しておきます。まず四月二十二日に今

年度の幹事総会が開かれ、このときに各委員会のグループメンバーが決定しました。私達会報委員会ではその後数回、会を持ち編集を、というよりもダベリングに終ってしまいがちでした。それと並行して六月までに原稿を取り寄せるのですがこれは毎年のことながら集稿するのに大変な苦勞を要しました。七月の中旬に入っていよいよ本格的編集の段階に入り、八月中旬に印刷所へ、という所です。ここで私達「会報委員会」よりお願いがあります。——OB諸兄の御意見、御希望をお待ちしています。私達の同窓誌「紫筒」のこれからの発展の為是非、御寄稿をお願い致します。もちろん宛名は母校同窓会で結講です。

—ダンス委員会—

十八期(四十一年卒) 鈴木 昌恵

どんなスポーツにもルールがあります。ダンスも同様で、パーティーなどで初対面の男女がスムーズに一体となって踊るためには、やはり予め約束が必要です。それがステップです。ですからこのステップの踏み方を知らない相手の方を踏む、ということになりかねません。大学生のダンス競技大会も毎年盛んですし、また私たち一般の者もダンスパ

ーティーに出席する機会が多くなってきています。そこで私たちは皆さんに正しく社交ダンスを理解して頂き、また楽しんで頂くために、講習会や練習パーティーを幾度か行ってきました。昨年は夏休みに10回に渡って毎日曜日に、初心者と中級とに班を分けて渋谷のダンス教室で、その先生の指導の下にマンボ、ブルースをはじめタンゴまで一応習いました。総まとめの意味で10月には文京高校同窓会の主催でダンスパーティーを開き、幾人かの文京の先生方を交え楽しい一時を過ごしました。更に今年も6月から7月にかけて講習会を銀座のダンス教室で行ないました。

このようにして、一人でも多くの卒業生の皆さんに参加して頂きたく思いながら活動しているのですが、連絡が不行届きだったりして御迷惑を掛けております。何かダンスに関する事で問合せたいことがありましたら、どうぞ学校の同窓会の顧問の先生かあるいは私たち係の者まで御連絡下さい。

これからできる限り講習会を開いていくつもりですので、皆さんもこの機会を利用して覚えられるとよろしいと思います。何しろ私たちはサービス精神に徹し、不当な利益など得ず、黒い霧も全くありませんので、安心して気楽に足を向けて下さい。お待ちしております。覚えるなら今がチャンスです!

学校群制度

松井好彦

昨年、高校受験生の注目の的となった学校群とは、東京の公立高校の過大区を縮小し各公立高校間の格差を是正することを目標とする入試制度改革である。そしてそれは各公立高校にとって大きな問題となり、賛否両論うずまいた。その中で有名校十数校はそれまでにつちかわれてきた伝統と校風と守るため、否、格差是正による質的低下を防ぐために多くの署名を集めたり、数度の陳情等の強力な反対運動を展開した。

さて、母校文京の学校群制度への反応はどのようなであったか。

学校群制度の構想には原則的に反対はしない。がしかし群編成において、母校の属する群は第二(赤城台高校)・第四(文京・向丘高校)学区と両区にまたがる特別群であるため、この群には不合理な点が多々あり、その不合理な点を解消すべく群編成の再考されんことを願い運動を行なった。いうまでもなく、この運動は母校、PTA、同窓会、全校あげてのものであった。

では、ここで母校の属する特別群のもつ不

合理的な点を明らかにし、その問題点を考えてみたいと思う。(昨年九月十七日、都教育委員会に提出された請願書より。)

一、なぜ第二学区内で赤城台高校が編成できないか。

第二学区内で赤城台高校に近接する高校がないわけではなく、近くに戸山高校があるにもかかわらず、同一学区内で編成できない性格をもつ赤城台高校を学区制の条例や、同一学区内で群編成を行うとの大原則をまげてまでなぜ第四学区におしつけたか。

一、地域、交通の不便の不合理、

学区の境界上の青山高校ですら、一つの学区なのに、第二学区と相当にはなれている文京高校を両学区にまたがし、なおかつ、小石川、竹早の学校群を中に囲んでの群編成はどう考えてもおかしい。

文京在校生の居住地分布は大体において、文京区、豊島区、板橋区、北区の四区に均分しており、新宿区の赤城台高校への通学の不便と感じる者は75%になる。まして四学区のいずれの方の生徒にとっては、私鉄、国鉄、バス、都電等を利用する事となり、通学に多くの時間を要する事となる。そしてこの地域・交通の不利は、第四学区内の文京高校の属する学校群への敬遠、第二学区からの受験生の進出をまねき、一方においては、第四学区

内の他の学校群への志願者を増大させ、入学競争率を激化させることになる。

一、格差是正に反し、かえって拡大させる。この特別群への中学校側の志願者の敬遠は、第四学区内の他の多くの学校群にくらべ、その評価は一段とさがり、志願者の減少、あるいは、合格者の質的低下をまねがれることはできず、この制度の目標とする学校の格差是正とは全く逆の結果をまねくことになる。

最後にこの群編成成立の過程において不明瞭なる点を残し、不信の念を抱かざるを得ないのは誠に残念である。以上のような問題点を有した学校群制度は今年から実施されました。そしてこの改革の結果は数年後に明らかとなるでしょう。

文京よがんばれ、母校よ強くたくましく。今後の文京生諸君の活躍と母校文京の発展と心から願います。

〔まついよしひこ 十八期(四十一年卒)〕



本年度職員移動

(転任の先生方)

1 橘高信先生(世界史) 昭18年—42年

都立桜町高校へ

2 石上二郎先生(生物) 昭22—42

都立国立高校へ

3 磯野幸先生(数学) 昭33—42

都立日野高校へ

4 大原昭道先生(数学) 昭37—42

都立秋川高校へ

5 湯本祐之先生(国語) 昭37—42

都立江北高校へ

6 毛利和夫先生(日本史) 昭38—42

都立小石川高校へ

7 浅沼清先生(数学) 昭38—42

都立大山高校へ

8 御子柴栄一先生(物理) 昭39—42

都立大泉高校へ

(新任の先生)

1 成瀬頼弘先生(数学)

都立志村高校から

2 稻留土州先生(数学)

都立杉並高校から

3 太田三郎先生(物理)

都立北多摩高校から

4 岩田浩司先生(生物)

都立国立高校から

5 亀岡良平先生(世界史)

都立八潮高校から

6 山口正光先生(数学)

都立忍岡高校から

7 木下繁先生(日本史)

都立桜町高校から。なお先生は4月

15日教頭として都立深沢高校へ転任。

事務関係の移動

(転任) 田中厚子先生(昭37—42)

市ヶ谷商業高校へ

金子重夫先生(昭41—42)

退職

(新任) 田中芳枝先生

吉沢忠司先生

☆: 母校「校歌」の歌詞の公募(文京高校校歌作成委員会より)

一、母校校歌たるにふさわしいもの。

一、原稿用紙(400字詰)に歌詞を記載のこと。

一、採用作、佳作には記念品を進呈。

一、四十二年十月末までに母校、校歌作成委員会宛、送付のこと。

委員会宛、送付のこと。

☆: 今年も又文化祭等の季節がやってきました。母校、文京高校も今年は九月三十日、十月一日に文化祭を実施する予定です。(尚、体育祭の方は校庭整備の為、中止を予定されています)どうぞお誘い合わせの上御来校下さい。お待ちしております。

☆: 振替口替の番号が次のようになります。御利用下さい。

「東京・六二〇一一 東京都立文京高等学校・同窓会」

☆: 尚、電話番号の局番の方も変更しました。番号は元のままです。

旧(九八一)八二三一

新(九一〇)八二三一

故清水政治様

本校創立以来今日迄、(途中戦争末期に校舎が焼けたりして3年間、民間の会社へ就職されましたが)25年間、人生の半生を母校のために捧げ尽された小使の清水さんは、本年3月から身体の具合を悪くし、すぐガン研で手術されました、一時は退院し散歩なさるまで回復しましたが、暑い8月2日腹膜炎でなくなられました。ここにつつしんで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りしたいと思います。

住所 東京都練馬区東大泉九五八
 生年 明治31年1月28日生
 昭和5年小石川竹早町愛知会小使
 " 15年市立三中小使(母校の前校名)
 " 20年退職、埼玉県松山工業所へ
 " 23年 都立文京高校小使
 " 42年 8月2日退職、死亡

R E P O R T

ほ
う
こ
く

昭和41年4月1日~42年3月31日の間の会計は次の通りです。

昭和42年3月31日 会長 渡辺剛章
 会計 西岡弘

監査の上、正確であることを認証します。

会計監査 綿谷晴夫
 " 光山保士

1. 財産目録(42.3.31)

イ. 貸付信託 1,470,000円
 ロ. 現金 312,557円
 ハ. 物 品 ①両開き書庫 ②ハガキ印刷機(2台)
 ③書類入れ ④手提金庫 ⑤ヤスリ板
 ニ. 郵便口座 伝票④ 160円

2. 収 支
 (収入)

寄付その他 9,945
 利 子 63,932
 入 会 金 930,000
 繰 越 455,442
 名 簿 139,000
 貸付満期 100,000
 (合計) 1,698,319円

支 出

会報(印刷発送) 117,600
 名 簿 289,321
 通 信 56,444
 運 営 50,297
 総 会 40,000
 各部行事 32,100
 貸付(41.42年度分) 800,000
 (合計) 1,385,762円

報
告

十字路

時は人を待ってくれない
人も絶えず変化していく
人は一体何を考えている
のだろうか。

流れ星

私がそれを知ったのは一期校の試験の日、
家へ帰りほっとしていたときであった。
文京生の妖折は四年前の西武線への飛びこ
み自殺以来であるが、これら二つの死を同日
に論ぜられないのは無論である。

齊藤 敬子 三月二日 心臓マヒにて死亡
彼女だ！

一年足らずの短い期間であったが、同じク
ラブに籍を置き、一緒に劇の練習に励んだ人
である。

文化祭の直後にやめてしまったので、先輩

後輩という間柄すら薄かったのだが、あの体
育館のボンヤリしたスポットライトに白い衣
装で浮び上がった彼女の姿を、練習でナレー
ションを終えた後心配そうな顔つきでこちら
を見ていたあのおとなしい少女を、私は、は
っきりと思い出し得た。

流れ星が空を横切るとき、ああ、あれが人
の生命いのちなのかもしれない、という感傷的な思
いにかられるときがある。流れ星が消えるよ
うに生命が消える瞬間、人は一体何を思い起
こすのだろうか。私達共有の英語劇「ベニス
の商人」を思い起して欲しいなどとは望むべ
くもないが、彼女は突然の死に、いったい何
を思い起しただろう。

卒業式を目前に控え、社会人への準備期間
を通じて新しい生活に向って精いっぱい歩
み出そうとしていた彼女が、私達残された者
に教えてくれたことは、その突然の死によっ
ても抹殺され得ない生への誠実さではないだ
ろうか。

秋の野分のように、私の心を吹き過ぎた彼
女の死は、あの頃のかなり不明瞭になってし
まった私の生活感情を甦えらせてくれた。そ
して、不確かな世界の中に確かな区切りを一
つ一つつけていくことによって、そこに単な
る時間の流れではない、歴史と呼ぶにたるも
のを生み出して行くという方向づけを与えて

もくれた。

齊藤さんの死を悼みつつ……

十八期（四十一年卒）若林誠一

友情の限界

仙台の北まで旅した。夜汽車でゆくのが通
例なのだがこの度は都合により車であった。
私には旅は汽車という先入観があり自動車で
は汽車で味わう、あの寂寥とした一種の旅情
が失なわれてしまうような気がしきりにして
ならなかった。

月が空に懸っていたにもかかわらず山の稜
線を浮び上らせている以外は凡て闇の世界で
あった。暗黒の無の世界から明るく影絵のよ
うに照し出される車道は遠く山並の彼方から
続いているようでもあり、幻影のように突然
現われたようでもあった。それは次の瞬間に
は無の世界に没しなければならぬものであ
った。絶え間なく現われてくる明暗の対照を
見ながら闇の中に現われた風影が彼方の闇の
中にも存在し続けているとは思えなかった。
車窓にさえ目を配らなければ天地晦冥の息吹
きの中に私も車道も均しく静止しているよう
に感じられた。

この静止を破って動を感じさせるのは街路
樹だった。走馬燈のように流れ去ってゆく樹
木は路の側面に壁を築くように一体となって

現われた。路と同じようにそれは闇の中から光に照らされ、またたく間に闇の中に消えてゆくものだった。去り行く街路樹を見ながら、後方の闇の中に没し去った樹木が本当に実在したのかどうか、私にはおぼつかなかった。

私は友情がこの去ってゆく街路樹と同じように思えてならなかった。十八年の生涯の中に友情がひとつひとつ私の生活を型造っては過去のものとなっていく。それは十八年の旅が闇の中から照らし出した、ひとつひとつの街路樹とちょうど同じ姿だった。走馬燈のように走り去った幾何かの友情は、闇に消えた樹木が本当に実在したのかどうか私にはおぼつかなくなると同様に、そんな友情が過去にほんとうにあったのかどうか、ついには、その友人がほんとうにいたのかどうかさえ思い出せなくなってしまうような気がするのだった。

現在の友情が記憶の底に没み、現在の友人が過去の人となり、やがて思い出すことさえできなくなるのを感じる時、この樹木に何うすることもできない人懐しさを覚えたのである。

こう感じたのは私の旅の感傷と尚古趣味にすぎなかったのであろうか。

十九期（四十二年卒）小野 明

農工大と文京生と

私は、文京が、まだ圧倒的に浪人する者の多かった頃に卒業致しました。そして半ば、当然のように一浪し、農工大農学部農学科に入学しました。

ここで、必要性を感じて、我が大学の紹介をさせて戴くならば、

明治七年、今の新宿御苑のある、内藤新宿に、農工大と東大の両農学部の源、農事修学場と、工学部（旧繊維学部）の源、蚕病試験掛が設置され、農学部はその後、駒場に移り、駒場農科大学実科、東京帝国大学農学部実科、さらに、昭和十年に東京高等農林として府中に移転、工学部は、蚕業講習所、東京高等蚕糸学校（北区西ヶ原）を経て、小金井に移転、しかるのちに、両専門学校は、昭和二十四年に再び、相寄って、東京農工大学となりました。

農学部は、東大の演習林を開拓してできただけに、都会の緑うすき砂漠大学と正反対に雨降れば、長靴スタイルの学生が通る、樺、松はじめ、ありとあらゆる木々の谷間から建物が見える、土臭い、ところですよ。工学部には、広大な桑畑があり、農工大は、いわば東京の中の地方大学といった感じの大学です。「豊山の出たところですか」「私立ですか」

「農耕大？」「農業工業大学御中」から、ひどいものになると、「そこも四年ですか」。朝日新聞でもまちがえたことがあります。さて文京からは、このところ、二名、多くて三名くらいしか入学してこないですが、四一年度は、農六名、工七名が在学しておりました。

以前は工学部（繊維学部）に進む者が多かったようです。私の知る文京生は、農学部ですが、一般的に、両学部の学生気質はかなり、異り、一言でいえば、農学部は、パンカラの工学部は、スマートで紳士然としています。

ここで、都会に存する、母校の人達に、自然を愛する人間になって欲しいということを目指します。はっきりいえば、農学というものにもっと関心を向けられたらということですよ。正に、自然が好きの人にとっては、好適な学問です。会報によりますと、文京生の「スマート化」がいよいよ進行しつつある（どこでも同じような傾向ではあるでしょうが）ようですが、それが軽薄さを意味するものではないはずですよ。このあたりをちょっと掘り下げて考えられたらと思うのです。

先日、文京に寄りましたら、終業式で、ガミさんこと石上先生は、国立高校に御転任とのこと、生物室の内外に響いた、あの声が、文京から消えるとなると何か、感じさせられます。阿部圭太郎先生、西岡先生ともおめに

かかりました。阿部先生には、書道、西岡先生には、国語甲で習い、西岡先生は在校當時から、図書館のせわをやかれていたことを覚えています。卒業して六年目、先生と話していると、先生が、いかに教え子たちのことを志れないでおられるかということがわかります。

十四期（三十七年卒） 桜井 勇

文京—現在—これから

四月になると芽をふき、さわやかな風は、そこから生まれてくるのではないかと思わせるように、緑の葉を一杯につけた高い高い、大きな公孫樹。秋。そう、ちょうど今頃になると落ちついた感じの黄色を、小さな葉に平等につけて、着け終わるとひらひら舞い降りて、命を全うする公孫樹の葉。三年間、そうした変化が、私の心と相通じていたせいもあって、文京で一番記憶に残っているのは、その公孫樹の木、公孫樹のように大きく生きたいと思っていた。何も分からず、ただ夢中毎日過ごしていた一年生の時。先生から疎外されたように思った自主的な高校生活。慣れるまではさびしくて、公孫樹ばかり眺めていたっけ。二年生になると太陽のいっぱいある新校舎に移り、私の心も活動開始。苦手な物理や数字でみっちりしぼられたあのバレ

ーボールは公孫樹の下で。三年生。まわりも自分もそうであるように、なにかしら追いつめられたような感じになる就職試験、大学受験準備。既存の試験制度がある限り、高校の予備校的存在はまぬがれないであろう。けれど、一番大切なことは、そうした中での自分の立場の自覚ではないだろうか。正しく自分の立場の自覚を持って、何事にもあつたならば、前進への苦惱こそあれ、みじめな後悔はまぬがられるであろう。三年も八月になると、そろそろ就職の決まる人もいる。この頃から、一人、一人がそれぞれの道を歩むため、ばらばらになってしまおうようだ。そのくせ、一人では心細く、無意識に、強い友情の絆を求め合う心と心。そんな相反する感情が瞬間的に交互し、毎日毎日を不安なものにしてしまう。私も例にもれず、期末テストが終わると受験準備の為休みになって、友達との会話も絶えたことが不安を助長し、前進への苦悩とは、ほど遠い陰鬱な悩みに覆われたのである。そんな中で受験。どうやら無事パスしたとはいえ、あの時感じた、なにかに対する疑問は、まだ私の心に深く根ざしている。陰と陽にたとえれば、私にとって今は陽であり、陽に浸ることは、たやすいことだが、時々、陰が頭をもたげて、私に言う。

「……。」
十七期（四十年卒） 今井和子

母 校

私はいま板橋の中学校で、なまいきざかりでできる悪い悪童ども相手に数学を教えています。そして郊外に小さいながらも「家」をかまえ、妻と〇・五才の長女と三人で、のどかで平和なしあわせの日々を送っています。こんな運命になったそもそものは、文京の門をくぐったことにはじまる、

私が入学したのはモデルスクール完成の落成式があった年です。まだ、戦争の傷跡のまざまざと残るその頃、校舎も教材もなく、不自由な中学校時代を送った私にとって、モデルスクールは文学通りの学園であった。

中学では殆どなかった理科の実験もふんだんにやらせてもらった。特に三つもある理科室、それぞれに準備室、実験室が、そして生物の飼育場、当時、他の高校へ行って友人に大いに自慢したことを、そして彼らがうらやましがったことを、覚えていいる。

そんな恵まれた環境のなかで、夜遅くまで石上先生にどなられながら、文化祭の準備をしたり、夏だけ水泳部にもぐって、教育大のプールでくさい水をのんだり、受験をひかえた三年の秋クラス単位で遠足の計画をした

り、卒業期に百三十ページになった立派な文集をクラスで作ったり、e t c、e t c……

すべてが楽しいことばかりであった。(勉強は一生けんめいやらなかつたので。)

また、さらによかつたことは、奥田校長先生をはじめ、諸先生方が、本当に心から尊敬のできる立派な先生であったことです。そのため、「先生」に大いなるあこがれをいだいたものでした。

そしていつか私は、一生このまま高校生であれたら、そう高校の先生になれたらすばらしいなあと思うようになりました。

文京を卒業するとは、教師になろうとは、夢にも思っていなかつたのですが、ひよんなことからいつのまにか中学校の数学の教師となつてしまいました。在学中の不勉強がたつてか、念願であつた高校の先生になりそこねてしまいました。

私の人生に、あの文京の三年間の生活がなかつたら、教師になろうなどはさらさら考へなかつたでしょう。そして、今のしあわせもなかつたことであろうと思ひます。

いま、教え子を母校へ送る立場となつて、自信をもって文京の良さを説明し、できるだけ優秀な後輩ができるようにと心がけていますが、つい最近その後輩から、例の学校群制度の影響でか、今年の新入生はいつもより質

が悪るそうという話を耳にして、少なからずさびしさのようなものを感じた。

八期(三十一年卒) 鈴木秀男

文京高校の思い出

文京の思い出の依頼があつて頭に浮んだ事は、勉強をあまりにもやらなかつた事に対する後悔でもなければ、柔道を適当にやつた事でもないし、いわんや数々の夫恋の悲しみでもない。では何かというウー——ント

あまり遊んだおぼえもない(?)文化祭のことかな。一年から二年に幸いにしてなつたとき知らぬ間に文化常任委員長という御名前を頂いて、しかたない、一つ文化祭ちゅうのをやってやるか何も知らぬ事を最大の武器にして始めたのが第17回文化祭だつたわけだ。それは神様も御存知なかつた訳である。六月に文化祭実行委員会なるものを設置、後夜祭の計画を立て校長、職員会議を通り許可が下つた時、俺が初めて後夜祭をやるんだと胸を張つたら先輩に昔やつたと聞かされケチモン。

それから委員団結(?)して夏休みを返上し、プログラム広告とり、二学期に入ればプロ作り、定時制の教室使用願ひ、後夜祭の電球を求め走りまわつた。今でもプログラムをみていると涙と汗とヨダレが出てくる。文京

祭当時五時起きで行くともう来て用意している所があつた。あれには心から頭がさがつた。後夜祭、これは予想以上にお粗末だつた。思い出したくないからこれでやめておく。

後かたづけの一日が終り次の日僕の為の代休と考え、学校を休んで一人一日ボーッと文京祭を振り返つたのだった。準備の日、生まれて初めて女子高に招待されたのに行けなかつた事、当日、友人が来ても五分以上一緒にいられなかつた事等は今でも残念だ(ホント)

でも今になつても僕の文京祭は僕の心にしかりと定住している。そして大学にはいった今、また文化祭をやつてみたくなつた。

最後に色々お教を頂いた緒先生、緒先輩、協力して下さつた委員の方々、それに僕のような男に文京祭をやらして下さつた文京という学校に、僕はこの紙面を借りてお礼をしたい。

十九期(四十二年卒) 保高久夫

表紙題字は現校長・丸岡真幸先生
表紙カットは41年丁卒・寺田有恒

国公立大学進学状況

() 内数字は女子
昭和42年5月1日現在

進 学 校	新卒	41年卒	40年以 前 卒	計					
東京大	0	3	0	3	東洋大	1	0	0	1
東京工大	3	3	0	6	東海大	0	1	0	1
一橋大	1	2	0	3	専修大	2	0	0	2
東京教育大	2	1	0	3	拓殖大	1	0	0	1
東京外語大	0	0	1	1	東京電機大	5	0	0	5
東京農工大	2	2	0	4	武蔵工大	0	2	1	3
電気通信大	3	1	0	4	工学院大	2	1	0	3
東京商船大	1	0	0	1	北里大	2	1	0	3
東京芸術大	0	1	0	1	星薬大	3(2)	0	0	3(2)
東京学芸大	3(3)	0	0	3(3)	明治薬大	1(1)	0	0	1(1)
埼玉大	8(1)	2	2	12(1)	東京薬大	3(1)	1(1)	0	4(2)
千葉大	0	1	0	1	武蔵野音大	1(1)	0	0	1(1)
横浜国大	0	0	0	0	国立音大	0	1	0	1
群馬大	1	0	0	1	東洋音大	3(3)	0	0	3(3)
宇都宮大	0	0	1	1	東京経済大	0	1	0	1
北大	0	1	0	1	日本女大	1(1)	0	0	1(1)
岩手大	0	1	0	1	実践女大	2(2)	0	0	2(2)
福島大	0	1	0	1	多摩美大	1	1(1)	0	2(1)
都立大	2	4	2	8	その他	1	3	0	4(2)
横浜市大	2	0	0	2	計	114(24)	101(6)	22(3)	237(33)
計	28(4)	23	6	57(4)	△短期大学				
△私立大学					東京女大	2(2)	0	0	2(2)
早大	11	27	8	46	共立女大	4(4)	0	0	4(4)
慶大	5	15(1)	4	24(1)	跡見女大	4(4)	0	0	4(4)
明大	4	8	0	12	青山学院大	1(1)	0	0	1(1)
立大	7(2)	2	0	9(2)	都立商科短大	2(2)	0	0	2(2)
中大	14(1)	1	1(1)	22(2)	日本電子専門	1	0	0	1
日大	12(2)	4	1	17(2)	実践女大	2(2)	0	0	2(2)
法大	6	11(1)	0	17(3)	女子栄養大	5(5)	0	0	5(5)
上智大	7	6	2	15	明治大	3(3)	0	0	3(3)
独協大	6(1)	2(1)	0	8	大妻女大	1(1)	0	0	1(1)
理大	3(1)	3(1)	5(2)	11(4)	その他	9(5)	1	0	10(5)
学習院大	1	1	0	2	計	34(29)	1	0	35(29)
成城大	1	1	0	2	△各種学校				
成蹊大	3(2)	0	0	3(2)	都立保母学院	3(3)	0	0	3(3)
武蔵大	1	0	0	1	文化服装学院	3(3)	0	0	3(3)
青山学院大	2	0	0	2	都立豊島高等	1(1)	0	0	1(1)
明治学院大	1(1)	0	0	1(1)	看護学院				
国学院大	1(1)	1	0	2	その他	4(4)	0	0	4(4)
国際キリスト 教大	0	1	0	1	計	11(11)	0	0	11(11)
					総計	新 卒	41年卒	40年以 前 卒	計
						187(68)	125(6)	28(3)	340(77)

昭和42年度卒 大学進学状況

(現役のみ記載)

A組

武藤 正 中央大(法)
 野倉 早苗 文化服装学院
 野田 光子 女学栄養短大
 梶野 茂男 青山学院大(経)
 中村 久美子 成蹊大(久)
 武藤 正 慶大(法)
 増山 よう子 武蔵野音楽(短)
 敷樋 せつ子 明大(短)
 勝見 恭子 都立豊島看護学院
 小島 徳則 中大(二法)
 矢賀谷千代子 中大(文)
 山田 幸子 文化服装学園
 小島 令子 都立商科短大
 尾瀬 修一 埼玉大
 葦原 美保 YWCA
 鷺野 真知子 YWCA
 萩原 東茂蔵 慶大(文)

B組

東 ひろみ 立大(文)
 大道 裕美 跡見(短)
 遠藤 峰子 共立(短)

板谷 宗 早大(法)

立原 良部 上智(経)
 松下 彰 中大(法)
 上野 節子 成蹊大(文)
 大須 賀清 専修大(法)
 山田 かおる 東洋音大
 宮沢 かの子 都立保母学院
 関口 節子 〃
 央紀代子 跡見(短)
 土田 勝己 立大(経済)
 大川 節子 明大(短)
 霜越 智子 日大(芸)
 小島 光 早大(二文)
 柳沢 研一 早大(教育)
 黒田 益生 早大(商)
 鈴木 茂 日大(法)
 酒井 恵子 女子栄養短大
 築野 雅則 法大(二経)
 永智 まち子 東京芸大(学芸)

C組

金丸 正城 上智大(外)
 吉田 純子 共立女子大(短)

D組

清水 千津子 都立高等保母学院
 奥山 隆子 明治学院大(社)
 野口 真紀子 文化女子短大
 風見 順子 武蔵野音楽(短)
 神林 和雄 多摩芸術学園
 内田 和 教育大(体)
 磯部 裕次 中大(二法)
 蓮見 明 横浜市立(文理)
 鹿島 秀夫 拓殖大(経済)

石井 義隆 日大(生産工)
 小野 明 中大(法)
 寺田 英二 早大(商)
 川上 栄子 文京学園
 梅沢 達朗 法大(法)
 須藤 和文 日大(文理)
 正 和敬 明大(商)
 寺田 英二 中大(商)
 本郷 健二 武蔵大(経済)
 山口 誠 早大(商)
 宮沢 俊男 中大(商)
 青木 みどり 立大(文)
 金沢 真知子 東女大(短)
 谷本 武子 法大(文)
 三田 孝子 文化服装

E組

斎藤 比砂恵 大妻女大(短)
 桑山 真由美 埼玉大
 石見 千恵子 東洋女子(短)
 中沢 宣幸 日大(商)
 浜野 真一 埼玉大(教育)

F組

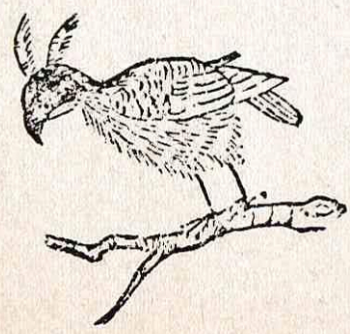
柄沢 喜一 日大(生産工)
 井坂 洋子 実践女子(家政)
 小笠原 道子 実践女子(家政)
 前田 真一 独協(外国語)

西谷 雄史郎 独協(外国語)
 近藤 まり 独協(外国語)
 和田 英男 中央鉄道学園
 申斐 由美子 東洋音楽(音楽)
 栗山 文子 国学院(国文)
 加藤 道夫 日本電子専門学校
 斎藤 麗子 星薬科大
 清宮 緑 東洋女子短大
 西川 博 成城大(経)
 倉田 貴美子 日本女子大(教育)
 跡見(家政)
 井原 潤子 共立女子(家政)
 実践女子(家政)
 深見 かず子 跡見(家政)
 梶野 哲夫 明治大(政経) 立
 教大(経)
 谷田部 英夫 立教大(法)
 野辺 忠彦 明治大(文)
 川島 秀夫 法政大(法)
 堂山 修一 上智大(経)
 松本 宣栄 慶大(商)
 坂山 日出夫 東京経済大(経)
 野村 雅子 日大(理工)
 池田 卓 東洋大(工)
 飯島 久子 日本音楽学校
 宇治川 みやこ 女子栄養短大
 和田 英男 一橋大(社会)

青山 恵子 YWCA学院
 G組
 保高 久夫 電機大(工)
 山本 伊佐男 電機大(工)
 福田 章 東薬大
 森 秀子 東薬大
 田村 幸男 東薬大
 金坂 輝夫 工学院大(工)
 田村 幸男 星薬大
 山岸 源二郎 東工大
 吉田 明 電機大(工)
 溝口 憲治 都立大(理工)
 松島 俊夫 独協大(経)
 杉本 一隆 理科大
 新井 政明 中大(商)
 横山 文明 早大(理工)
 保坂 公隆 日大(建)
 佐藤 茂雄 横浜市大(文理)
 石鍋 秀一 東京商船大
 加藤 健二 電通大
 吉田 明 埼大(理工)
 佐藤 茂夫 電通大(工)
 大湖 真理 独協大(法)
 金坂 静夫 日大(理)
 石井 慎一 日大(農)

H組
 清水 勇芳 上智大(理工)
 村田 佐知子 北里大
 桜井 康喜 東電機大
 土屋 稔 "
 三輪 慎悟 日大(理工)
 新井 新幸 "
 石綿 庚男 成蹊大(政経)
 矢萩 恵一 埼玉大
 島根 考一 中大(理工)
 堀田 実 東工大
 森田 博美 教育大(農)
 荒川 昭 農工大(農)
 小林 研 電通大(物)
 宮寺 和代 学芸大(教)
 田中 志津子 "
 金田 修一 農工大(工)
 鈴木 和夫 理科大
 I組
 井戸 三夫 慶大(工)
 久保 洋子 北里大(衛生)
 曾根田 千代子 星薬科大
 杉本 至 早大(理工)
 松原 正 早大(理工)
 吉田 令子 理大(薬)法大(工)
 倉島 清 法大(工)

田口 清 青山(理工)
 志村 和夫 中大(工)
 清水 伸二 上智大
 戸田 忠晴 中大(理工)
 杉本 至 東工大
 福地 静夫 埼大(理)
 黒川 輝夫 埼大(物)
 内山 洋一 "
 寺山 英一 群馬大(工)



昭和四十二年卒業生就職決定先

(四十二年度三月現在)

日本銀行	中村志津枝	B組
日本勸業銀行	五十嵐春子	B組
住友銀行	篠原 幸子	B組
第一銀行	大木せつ子	B組
東京生命	大沢 澄江	B組
富国生命	三浦 恒美	B組
三菱商事	藤田美佐子	B組
住友商事	坂井 邦男	B組
住友商事	富永みどり	B組
住友商事	白井ちえ子	B組
住友商事	石川 礼子	B組
住友商事	泉 千鶴	B組
住友商事	古賀ふみ子	B組
住友商事	篠木 恵子	B組
住友商事	五十嵐清子	B組
住友商事	榎松マスマ	B組
住友商事	岩堀美名子	B組
住友商事	五味 裕子	B組
住友商事	中村 雅子	B組
住友商事	奥田美恵子	B組
住友商事	浜屋 淑子	B組
住友商事	宮本 津子	B組
住友商事	羽島 澄子	B組
住友商事	山下ふみ子	B組
住友商事	今井 直代	B組
住友商事	富田 昭子	B組
住友商事	富田 光子	B組
住友商事	八幡製鉄	B組
住友商事	八幡製鉄	B組
住友商事	八幡エコンスト	B組
住友商事	日本セメント	B組
住友商事	ニチボク	B組

キリンビール	松崎 晴子	DFC組
ダイキン工業	菊地 マリ子	DFC組
ヤママレーデイズ	加藤 幸子	DFC組
大日本インキ工	篠田 好子	E組
富士電機	坂間 孝子	F組
ニッカウイスキー	戸井れい子	F組
三井フロンテック	有田 芳枝	F組
東京ガス	坪井 教子	B組
日本海事検定協	佐藤百合子	C組
住友金属	早野 典子	A組
日本電機公社	佐川 葉子	B組
日本交通公社	中河 正江	B組
共同テレビ通信	金子美代子	B組
日本専売公社	堀口 芳子	B組
丸紅飯田	菅谷美登里	B組
共立出版	堀越 よしみ	B組
日産サニー共立	大浦 ひろね	B組
販売局	石井 章	C組
東京産業界	藤田 泰子	B組
都民生局	窪田 英子	B組
都庁	新井 政明	B組
国税庁	高橋 和夫	B組
通産省	村下 幸江	B組
郵政省	山田 博親	B組
工業技術院	太田 敏雄	B組
電気試験所(通)	中島 博	B組
産省)	小島 敏	B組
東大植物研究所	宮本 友子	C組
都立武蔵丘高	小沢 友子	C組
都立工部高	塚田 久子	C組
東大工学部	春日 雅子	C組
市ヶ谷会館	丹原 雅子	EAC組

編集後記

暑い暑いーが毎日の口ぐせだったが、考えてみればもう暑さも半ば過ぎだ。ひととおりの夏のバカンスを楽しんだというような街の様子、紫筍の編集も完了、何か全てが落ち着いていく。そして、私は紫筍編集をふり返る。編集を通して、今まで全く未知の人だった同窓会仲間と文で対面、うれしかった。ていねいに書いてある文章、個性のにじみでた文節、その人が多少なりとも知れたという喜びだ。この紫筍を手にした他の仲間もきっと感じるだろう……

私はふとある詩を思い出した。この広い世界いっぱい咲く花を、ひとつ残らずあなたにあげる——きっとこの紫筍が、広い日本のどこかで自分の生活をしている仲間に、文京の様子、仲間の状況、活動を、ひとつ残らず送ることだろう、満足のいかない点は多少あるが、最後にこの会報のため寄稿してくださった方々に、心からお礼申し上げます。



文京高校同窓会報
 紫筍 〈第12号〉
 昭和42年9月10日発行
 発行 渡辺剛章
 編集 瀬尾 淳他
 発行所 文京高校同窓会
 東京都豊島区西巢鴨3の853
 電話 (910) 8231
 印刷 東洋印刷株式会社

昭和42年度同窓会役員名簿

役職	氏名	卒業年組	電話	職業・学校
会副各部進	長長者路 渡赤	辺坂 剛正 彰雄	20-A (811)~2989 20=C 0498~31~2925	弁護士 文京高校 教諭
		○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加	39 G 907~011内134 40 D (981)~2738 40 D (942)~1852 41 J (913)~0721 41 A (941)~3269 42 G (801)~1948 42 H (982)~4181 42 F 472~52~7245 40 C (811)~4253 41 E 呼(821)~9300成岡 41 F (900)~3723 41 C (971)~0357 41 D (961)~8087 42 B (911)~0777 42 I (943)~1691 40 A (813)~0250 41 J (962)~3868 40 E (943)~2800 42 C (984)~8970 42 E 呼(821)~3030 20=A (956)~3311 20=A (821)~1343 30 A (901)~4801 27 B (812)~2653 23 B (982)~9856 38 A (939)~0294 40 C (900)~6670 41 B (933)~5925 41 F (971)~6220 41 I (956)~1342 42 D (960)~2476 39 H (918)~1812 41 B (957)~5335 41 G (971)~5052 42 I (919)~3458 42 F (811)~3833 42 E (811)~0392 42 A (919)~3458 41 I (946)~6483 41 C (960)~1481 41 D (943)~3017 42 B (941)~5758 42 C (983)~2457 41 H (942)~1398 42 A (957)~1700 42 A (946)~2943 20-C (811)~6311 23 B (982)~9856 38 D (911)~3125 20=C 0488~31~2925 26 D 0474~67~6871	東工大 都立大 明大 住友金属工業KK 上智大 東京電機大(工) 一橋大 早大(商) 青山短大 明大短 上智大(電気) 千葉大 東京学芸大 理大(理) 早大(社) 三菱銀行本店 日大(法) 住友商事(電機一課) 虎の門病院内科 不動産業 洋服店 二葉紙業 産婦科医 芝浦工大(工) 立大(文) 中大(法) 埼玉大(教養) 立大 東京歯科大 YWCA(被服科) 独協大 昭和女大(短) 日大 東京経済大(経営) 法大(経営) 大塚きもの学院 東京学芸大 文京高 教諭 三育会病院産婦科 都立大(人文) 文京高 教諭 文京高 購売部
名簿	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			
会報	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			
会館	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			
クラス同期会	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			
ダソス	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			
総務	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			
會計監査	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			
書記	○八坪今岡白保清和長青荒佐奥永手長瀬古坂篠橋湖辻皆榎静池荒堀勝徳小桑寺高水大近原吉鈴山後佐藤山松石鈴吉山宮松西静定赤加			

紙 についてのお問合せをどうぞ!!

二葉紙業株式会社

千代田区神田神保町 3-27
TEL (03) 265-6151(代)

取締役営業次長

榎 本 幸 三
(27年E卒)

和洋酒・ビール・食料品

株式会社 小 西

千代田区神田小川町 1-11
TEL (292) 6041

三 沢 文 雄 (36年B卒)

水谷 歯科

歯学博士

水 谷 義 文 (32年卒)

千代田区外神田 1-16-1 万世ビル
(二五三) 九一八一-九 (内線12)

同窓生に特価斡旋

ピアノと オルガン

何んでもご相談下さい!

ヤマハ
カワイ
カイザー
ディアパソン

勤務先 河合楽器 K K (281) 2706
自宅 目黒区中町 1-7-1 (713) 6431

三期卒 柴 田 哲 夫

弁護士 渡 辺 剛 彰 (旧1期A)

文京区西片町一〇
(811) 二九八九・七七〇四

若林税務会計事務所
税理士 若 林 守 男 (四期B)

事務所 東京都文京区千駄木二丁目三一番四号
電 話 八二七一局 九四七六番
八二七局 七〇一八番

一泊クラス会、小グループの活用について

「保養所—陽気荘—御案内」

1 申 込 先

A 母校(内) 荒井道雄先生
910-8231

B 埼玉県北足立郡大和町白子2242
荒 井 道 雄 先生
0484-61-1417

C 神奈川県真鶴町尻掛入口
陽 気 荘
0465-68-1543

2 費 用

一泊二食 1,000円
素 泊 600円

3 場 所

真 鶴 (電車賃東京から往復
720円) 東海道線真鶴駅下車
尻掛入口 徒歩14分 (バス・
タクシーの便あり)

4 広 さ

八 室 35名